



みどりの風

平成29年12月号 在籍児童数483名

学校教育目標

- 自ら考えのびる子
- 思いやりのある子
- 進んで体をきたえる子

協働する子ども達

校長 吉野 高男

校庭の木々の葉もほとんど落ち、冬支度の風景が広がっています。子ども達は、冷たい木枯らしにも負けず、縄跳びや朝マラソンにたくましく取り組んでいます。

11月は、学校公開や二者面談などで何度となく学校に足を運んでいただき、子ども達の様子をご覧になって頂きました。とりわけ、学校公開では、ともに学び合う子ども達の姿を見て頂けたかと思えます。また、学級によっては学習参観ならぬ保護者の皆様の「学習参加」をお願いした教室もありました。ご協力ありがとうございました。

さらに、持久走大会では普段の朝マラソンなどの成果を生かし、必死に走る子ども達の真剣な姿に私も昨年以上の元気をもらうことができました。運営にご協力頂きましたPTA役員の皆様ならびに激励にお出で頂いた保護者の皆様に重ねて御礼申し上げます。

さて先日、私は3年生の社会科学習としてのスーパーマーケット見学に同行しました。某スーパーマーケットの「食育体験スーパーマーケットツアー」という企画にお世話になったものです。この企画は見学だけでなく、食育プログラムの実践として、お店で実際に「見て、触れて、食べる体験学習」として実施されているものです。管理栄養士の方のクイズ形式を中心とした栄養バランスの楽しいお話の後、お買い物ゲームやサラダの調理の他、バックヤードの見学など盛りだくさんの内容でした。特に、私が感心したのは、お買い物ゲームでした。それは、野菜・果物を店内で実際に購入するというシミュレーションですが、管理栄養士の方から子ども達に思わずワクワクするミッションが与えられました。そのミッションとは、「葉を食べるもの」「根を食べるもの」「実を食べるもの」を必ず入れること。これはレクチャーの直後なのでさほど難しいことではありません。加えて、班で1つ好きなものを決めて買うこと。そして、何よりも子ども達を悩ませたのは、地元産のものも買わなければならないこと。さらに、合計で1000円以内、できるだけ多く買わなければならないことです。それも決められた時間内にです。この条件は、3年生にとって少々難しい地理の知識とともに、生活に根ざした迅速な計算力が求められます。この条件をクリアするために子ども達は、グループで真剣に相談し、協働せざるを得ません。そして、目の前には大量のお店の商品が広がっています。これらから子ども達は自然にワクワクし、店内をグループで右往左往しながらも協働し、全員が瞳を輝かせながら探究していました。子ども達の学びが見事にジャンプしていたのです。この時の子ども達の学びの姿から、少々難しいことにチャレンジする、したくなる課題や条件を私たち大人は、子ども達に常に示し続けていくことが大切である、と改めて学ぶことができました。

12月に入り、今年もあと僅かとなりました。慌ただしい月になるかと思いますが、皆様が良いお年を迎えられますようお祈りいたします。